

セミナー・アーカイブ視聴のご案内

皆さまへ

2026 年 7 月吉日

一般財団法人 社会福祉・医療事業の経営研究会

代表理事 西田在賢

当財団では、本年 2 月 21 日に、「自治体病院におけるオンライン診療の役割と展望」をテーマに総務省、厚生労働省、広島県、広島県医師会にご後援いただき第 19 回社会福祉・医療事業の経営研究セミナーを開催いたしました。内容は、地方独立行政法人広島県立病院機構が取組もうとしている小児科診療の集約化と高度化に、東京で全国の小児科医を組織するオンライン診療事業者の支援を導入することの有効性を国、県、そして医療関係者の間で確認しようとするもので、特に自治体病院における選択的オンライン診療導入は、自治体病院の存在意義とよく合致することから、国の診療報酬制度で手当てされる以前であっても別途に病院開設者自治体から財政措置を得て着手する妥当性も確認するものでした。そして、当日参加された方から寄せられたアンケートでは「かなり参考になった」あるいは「参考になった」で全部を占めるというものでした。

しかしながら、生憎とセミナーの広報が年末からの開始となり、十分な周知ができないままセミナー開催日を迎えたため、参加者は 100 名足らずにとどまり、応援してくださった関係者の方々からもったいないという声が多く寄せられました。

そこで、総務省自治財政局準公営企業室、そして全国自治体病院協議会とご相談して本セミナーのビデオアーカイブの視聴機会の提供を企画することといたしました。

ご提供いたしますのはセミナーの全プログラムではなく、演者から許諾を得たものから約 1 時間 45 分に編集したものとなりますが、準公営企業室室長は本セミナーにご用意されたオンライン診療導入の財政措置の事例を紹介され、そのあとに自治体病院における選択的オンライン診療導入の分かり易い事例として小児オンライン診療を取上げ、診療者側とオンライン診療支援事業者のそれぞれから説明しております。

そして、広島の研究者はわが国初となる医師偏在を解消するオンライン診療のフレームワークについて説明しておりますが、内容につきましては社会保険旬報 2026 年 7 月 11 日号に論文が掲載されておりますので、ぜひご一読ください。

なお、セミナー当日の有料参加の方にはアンケート回答の条件付きで演者の資料配布が可能でしたが、今回の企画では資料配布は不可です。ただし、今回の視聴希望を登録された自治体病院の関係者は視聴無料とさせていただきます。

この機会にぜひ自治体病院ならではのオンライン診療導入の姿を学ぶ機会としていただければ大変幸甚に存じます。

最後になりましたが、当財団は医療経営人材養成を支援することを目的として活動しております。詳しくはホームページ <https://hpbm.or.jp> をご覧ください。

セミナー・アーカイブ視聴 申込方法

申込方法は下記の通りです。

記

1. 視聴内容 <プログラム>の黄色マーカ部（約 1 時間 45 分）
2. 申込方法
当財団のホームページ（<https://hpbm.or.jp/>）の Events 欄のお知らせ『アーカイブ視聴申込』をクリックして、申込者情報を入力してください。
申込が完了すると自動で申込受付メールが配信されます。8 月 15 日頃、当財団より視聴用 URL をメールでご案内します。
3. 申込期間 7 月 20 日（月）9 時から 8 月 14 日（金）17 時まで
4. 視聴期間 8 月 17 日（月）9 時から 9 月 16 日（水）17 時まで
この間は繰り返しご視聴できます
5. 視聴料 無料
6. 講演資料の配布はありません
7. 問合せ先 一般財団法人 社会福祉・医療事業の経営研究会
東京都千代田区二番町 1 番地 2-233
メールアドレス seminar@hpbm.or.jp 担当 久保田 090-3930-2377

以上

(第 19 回) 社会福祉・医療事業の経営研究セミナー

「自治体病院におけるオンライン診療の役割と展望」

主催：一般財団法人社会福祉・医療事業の経営研究会

後援：総務省、厚生労働省、広島県、広島県医師会

令和 8 年 2 月 21 日 (土) 13:00～16:15

<プログラム>

13:00～13:10 開会挨拶 西田在賢 (HPBM 代表理事)

開会挨拶 浅原利正 (広島県参与、前広島大学学長、HPBM 評議員)

《講演第 1 部》座長：木倉敬之 (全国健康保険協会理事、広島県立病院機構評価委員会委員、HPBM 評議員)

大村慎一 (静岡大学客員教授、元総務省新型コロナ対策等地方連携総括官、HPB 評議員)

13:10～13:40 基調講演① 「公立病院に期待される役割について」 徳大寺祥宏 (総務省準公営企業室室長)

13:40～14:10 基調講演② 「オンライン診療をめぐる制度動向」 迫井正深 (厚生労働省医務技監)

14:10～14:30 講演「広島県小児医療の現状／持続可能な広島県の小児救急医療のために」

岡野里香 (広島市立舟入市民病院副院長兼小児科部長)

14:30～14:40 休憩

《講演第 2 部》進行：久保田徹 (HPBM 理事)

14:40～15:05 特別講演①「少子化・小児科医不足時代に子どもたちの健康をどう守るか」

ーオンライン活用の現場からー

橋本直也 (株式会社 Kids Public 代表取締役 (医師))

15:05～15:30 特別講演②「地域医療体制に応じたオンライン診療導入と連携基盤の必要性」

ー地域医療の実態に応じた D to P with X (多職種) 選択モデルー

島川龍載 (県立広島大学地域基盤研究機構特命准教授、

広島県地域保健対策協議会医療情報活用推進専門委員会委員長)

15:30～16:10 シンポジウム「自治体病院におけるオンライン診療を考える」

ファシリテータ：橋本英樹 (東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻行動社会医学講座教授、HPBM 理事)

パネリスト：大石佳能子 (メディアヴァ代表取締役、内閣府規制改革推進会議健康・医療・介護WG 専門委員、

広島県立病院機構評価委員会委員)

および登壇者全員

16:10～16:15 閉会挨拶 栗井和夫 (地方独立行政法人広島県立病院機構理事長)